

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公開番号】特開2007-221705(P2007-221705A)

【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2007-033

【出願番号】特願2006-42998(P2006-42998)

【国際特許分類】

H 04 N 5/76 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

G 11 B 27/00 (2006.01)

G 11 B 27/034 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/76 Z

H 04 N 5/91 Z

H 04 N 5/91 N

G 11 B 27/00 D

G 11 B 27/034

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放送信号を受信し、これを復調して映像音声信号を出力するチューナ部と、

特定の番組につき録画予約を行なう予約設定部と、

前記予約設定部が行なった前記番組に関して予約情報又は記憶部に格納されたコンテンツ情報の管理情報を検索し、類似したものがあればその予約情報が録画後に自動削除されないためのロック設定を行なっていたかどうかを判断し、行なっていれば前記予約設定部が行なった前記番組の録画予約についても前記ロック設定を行なうロック設定部と、を具備することを特徴とする放送記録装置。

【請求項2】

前記ロック設定部が設定した予約情報及びロック設定について、再編集するための画面を表示する予約編集部と、

前記予約編集部が編集した前記予約情報及びロック設定に応じて、予約情報が示す時刻になったら前記放送信号の映像音声信号を、前記ロック設定と共に記憶領域に記録する予約録画部とを具備することを特徴とする請求項1記載の放送記録装置。

【請求項3】

前記予約録画部が予約情報に応じて予約録画をする際に、前記記憶領域の容量が不足していると判断した場合、前記記憶領域に格納されている映像音声信号のうち前記ロック設定がなされていないものを削除するロック制御部を更に有することを特徴とする請求項1記載の放送記録装置。

【請求項4】

前記ロック制御部は、前記映像音声信号が複数ある場合、前記ロック設定がなされていないものであって、最古の前記映像音声信号を削除することを特徴とする請求項2記載の

放送記録装置。

【請求項 5】

前記予約設定部で予約を設定するための録画リスト中の番組毎に、前記ロック設定が行なわれたことを示すアイコンを表示するべく映像信号生成を行なう生成部を更に具備することを特徴とする請求項1記載の放送記録装置。

【請求項 6】

前記予約設定部で予約を設定するための録画設定中に、前記ロック設定を行なうためのアイコンを表示するべく映像信号生成を行なう生成部を更に具備することを特徴とする請求項1記載の放送記録装置。

【請求項 7】

放送信号を受信し復調して映像音声信号を出力し、

特定の番組につき録画予約を行い、

前記予約設定部が行なった前記番組に関して予約情報又は記憶部に格納されたコンテンツ情報の管理情報を検索し、類似したものがあればその予約情報が録画後に自動削除されないためのロック設定を行なっていたかどうかを判断し、行なっていれば前記予約設定部が行なった前記番組の録画予約についても前記ロック設定を行い、

予約情報が示す時刻になつたら前記放送信号の映像音声信号を、前記ロック設定と共に記憶領域に記録することを特徴とする放送記録方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

又、特許文献2においては、ユーザが自動削除させたくないコンテンツは、削除禁止管理を行なうことができる。

【特許文献1】特開2003-289490公報。

【特許文献2】特開2004-86288公報。